

# 大分県知的財産総合戦略の 進捗状況について

令和5年10月25日

大分県 商工観光労働部 新産業振興室

# ①大分県の知的財産の概要について

# 大分県知的財産総合戦略（H31～R5）の概要

## 第1章 知的財産を取り巻く環境

知的財産立国実現に向けた国の動き

○知的財産基本法(H14.12策定)

地方公共団体の責務: 知的財産の創造、保護、活用に関し、地域の特性を活かした自主的な施策を策定し、実施する責務  
→大分県知的財産活性化指針の策定(H18.2)



策定から12年が経過

- ◆第4次産業革命と呼ばれる社会環境の変化
  - ◆国内市場の縮小に伴う経済のグローバル化の進展
- 企業の事業戦略としてのオープン＆クローズ戦略の活用



新たな知的財産戦略の策定（現行戦略の策定）

## 第2章 大分県の知的財産を巡る現状と課題

### 1.大分の産業別特色

農林水産業、製造業、商業・物産・サービス産業、観光産業

### 2.ブランド力向上の取組事例

大分県の可能性を広げ、ブランド力向上に寄与している産品等を紹介

### 3.県内の出願・登録状況

・特許出願186件(全国36位)、商標出願529件(全国33位)

→全国的に低い水準

・中小企業数割合: 特許0.13%(全国33位)、商標0.43%(全国30位)

### 4.企業調査からみえた課題

訪問調査: 県内企業62社対象

## 第3章 知的財産の取組方針

### 1.基本的な方針…大分県長期総合計画をベース

安心・活力・発展を推進する創造戦略

(1)安心を守る知財戦略

(2)活力を生む知財戦略

(3)発展を促す知財戦略

### 2.戦略に係る目標

#### ●基本的な取組方針

「国内外における知的財産の適切な活用の促進」

#### ●総合目標

①知財支援機関による相談件数

H29年度 1,024件 → H35 1,238件

②中小企業数に占める出願中小企業数の割合(特許・商標)

H29年度比でH35年度に企業数で全国順位を10ランクアップを目指す

〔特許 H29 33位→ H35 23位〕

〔商標 H29 30位→ H35 20位〕

3.戦略に係る期間 平成31年度から5年間

## 第4章 解決に向けた知財戦略

大項目	小項目	具体的施策
安心・活力・発展を推進する創造戦略【知的財産の創造】	知的財産に関する相談機能の充実	・地理的表示(GI)保護、営業秘密・ノウハウ等幅広い相談対応 ・大分県よろず支援拠点や弁理士会等と連携した相談対応
	知的財産を創造する研究開発支援	・IoTやAI、ロボットなどの技術でシステムを開発し、実証・導入する企業を支援 ・ビジネスプランを募集・表彰し県内での事業化を支援
1.安心を守る知財戦略【知的財産の保護】	権利侵害に対する対策	・DNAマーカーによる識別技術確立や品種保護対策官との連携による侵害対応 ・ジェトロ等と連携した模倣品調査の実施
	知的財産の権利化に対する支援	・外国出願にかかる費用の助成
2.活力を生む知財戦略【知的財産の活用】	地域振興のための地域ブランドの構築	・おおいと和牛やベリーのPR強化 ・流通・販売体制構築による「The・おおいと」ブランドの確立 ・世界農業遺産やユネスコエコパークの世界ブランド商品の販売促進支援 ・かぼすプリ等かぼす養殖魚の周年出荷体制の構築 ・おんせん県おおいとロゴを活用した観光プロモーション等の促進
	開放特許等の活用促進	・大企業等と中小企業とのマッチング会の開催
	海外展開における知財活用の推進	・県産ブランドとして輸出する商標登録や地理的表示(GI)保護制度の推進 ・「別府竹細工」や「日田げた」の海外販路開拓支援
3.発展を促す知財戦略【教育、人材育成】	子ども、若者の知財教育・創作環境整備の推進	・O-Laboにおける科学体験講座の実施 ・少年少女発明クラブの設立及び活動の支援
	社会人の知財学習	・オープン＆クローズ戦略等最新のトレンドを取り込んだ企業経営セミナーの開催 ・企業経営者等を対象とした知財塾の開催

## 第5章 フォローアップ体制

外部有識者による「大分県知財戦略推進会議」や庁内の関係機関等で構成される組織を設置し、進捗管理等を実施

# 知的財産権制度の概要

## 知的財産権

※特許庁ホームページ等参照

### 知的創作物についての権利等

#### 特許権(特許法)

自然法則を利用した、新規性のある、産業上有用な発明(出願から20年間保護、一部25年に延長)  
【具体例】ハイブリッド・システム、青色発光ダイオード等

#### 実用新案権(実用新案法)

物品の形状・構造・組合せに関する考案(出願から10年間保護)  
【具体例】玩具、レンズ付きフィルム等

#### 意匠権(意匠法)

独創的で美的な外観を有する物品の形状・模様・色彩のデザイン(出願から25年間保護)  
【具体例】携帯電話、パソコン、自動車などのデザイン等

#### 著作権(著作権法)

独創性のある文芸、学術、美術、音楽、プログラム等の精神的作品(作者の死後70年間保護)  
【具体例】文学作品、演劇、映画(公表後70年間保護)、放送、音楽、ゲーム・ソフト等

#### 回路配置利用権(半導体集積回路の回路配置に関する法律)

半導体集積回路の回路配置の利用(登録から10年間保護)

#### 育成者権(種苗法)

農産物、林産物、水産物の生産のために栽培される植物の新品種(登録から25年間保護、樹木30年)

#### 営業秘密(不正競争防止法)

ノウハウや顧客リストの盗用などの不正行為を規制

### 営業上の標識についての権利等

#### 商標権(商標法)

商品・サービスに使用するマーク(文字・図形・記号など)(登録から10年間保護(更新可能))  
【具体例】商品や企業のマーク等

#### 商号(商法)

商人が営業上自分を表すのに使う名称

#### 商品等表示(不正競争防止法)

周知・著名な商標等の不正使用を規制

#### 地理的表示(GI)(特定農林水産物の名称の保護に関する法律)

品質、社会的評価その他の確立した特性が産地と結びついている商品の名称  
【具体例】大分かぼす

■ 内は産業財産権

# 大分県の知的財産の現状（出願・登録状況①）

- 大分県における10年間の出願件数は、**商標が増加傾向**、**特許が減少傾向**、実用新案・意匠はほぼ横ばい。
- 全国的には下位に低迷。R4年度については、特許（国際出願含む）が九州8位となった。

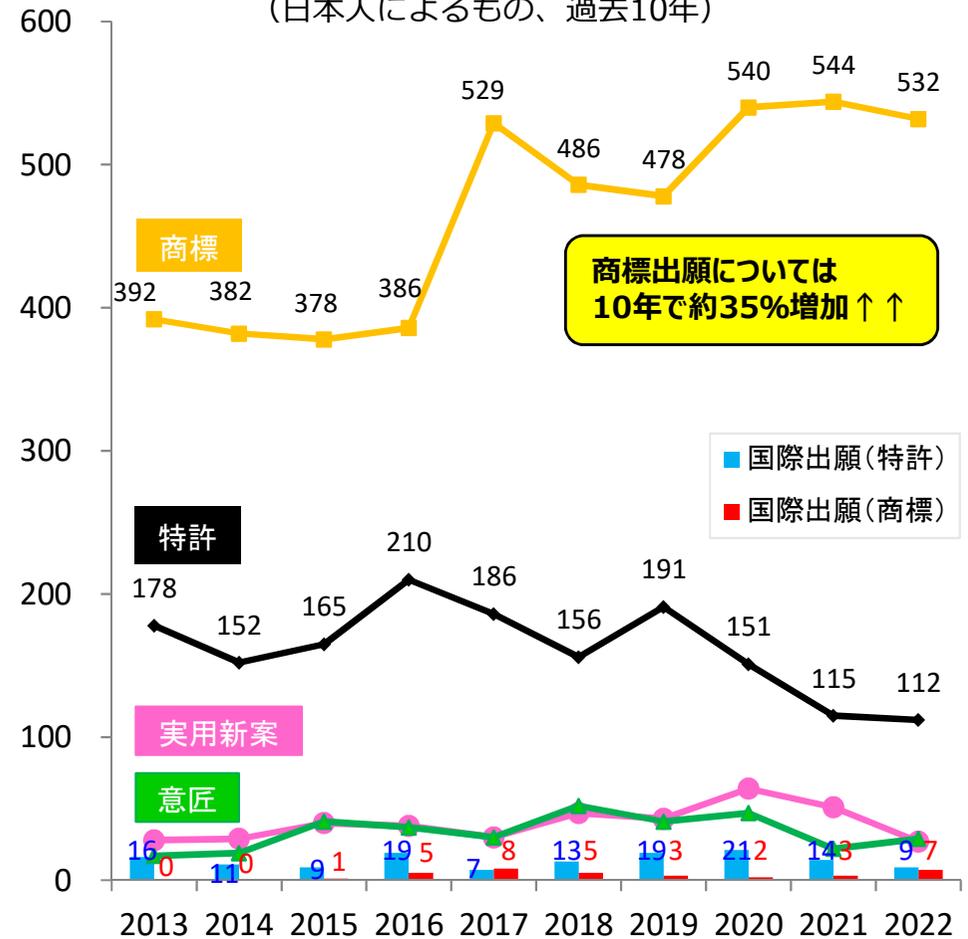
## I. 大分県における特許等の出願及び登録の状況

（日本人によるもの、2022年）

四法		大分県	全国	出願順位			
特許	出願	112	218,813	全国	44位	九州	8位
	登録	93	155,117				
実用新案	出願	27	2,964	全国	24位	九州	2位
	登録	31	3,026				
意匠	出願	29	21,479	全国	39位	九州	6位
	登録	28	20,197				
商標	出願	532	125,364	全国	31位	九州	4位
	登録	492	131,219				
国際出願（特許）		9	48,307	全国	45位	九州	8位
国際出願（商標）		7	3,094	全国	33位	九州	4位

## II. 大分県の特許、意匠、商標、国際出願の出願件数推移

（日本人によるもの、過去10年）



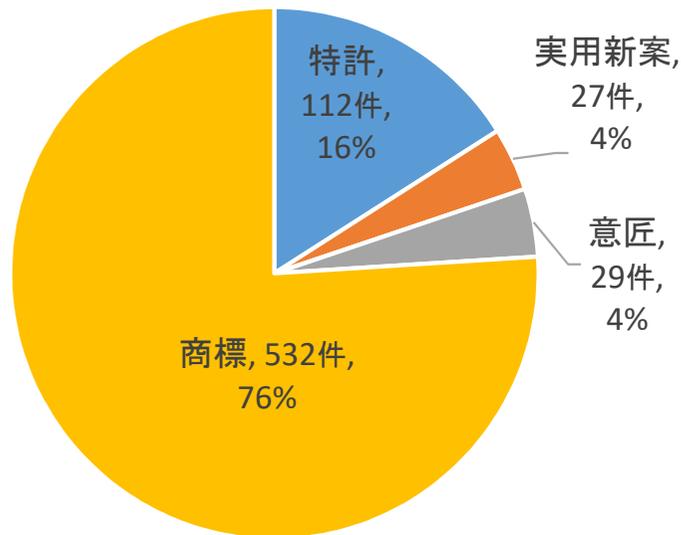
出典：特許行政年次報告書2023年版

# 大分県の知的財産の現状（出願・登録状況②）

- 大分県においては、全国と比較して商標の出願件数比率が高い。（R4商標出願件数比率は全国2位）
- 地域団体商標は、大半が食品関係の登録。（直近では別府竹細工が登録 R4年度）

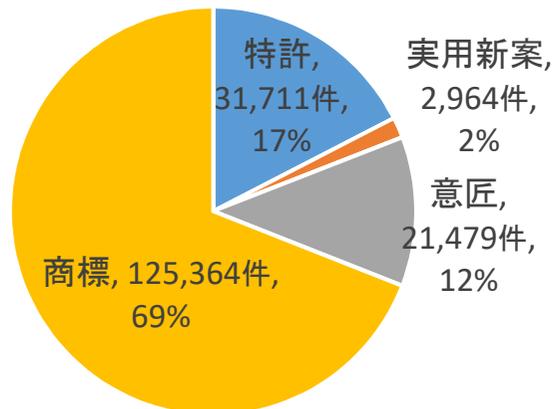
## Ⅲ. 四法別出願件数の比率【大分県】

（日本人によるもの、2022年）



## （参考）四法別出願件数の比率【全国】

（日本人によるもの、2022年）



出典：特許行政年次報告書2023年版

## Ⅳ. 県内の地域団体商標の取得状況（13件）（全国20位）

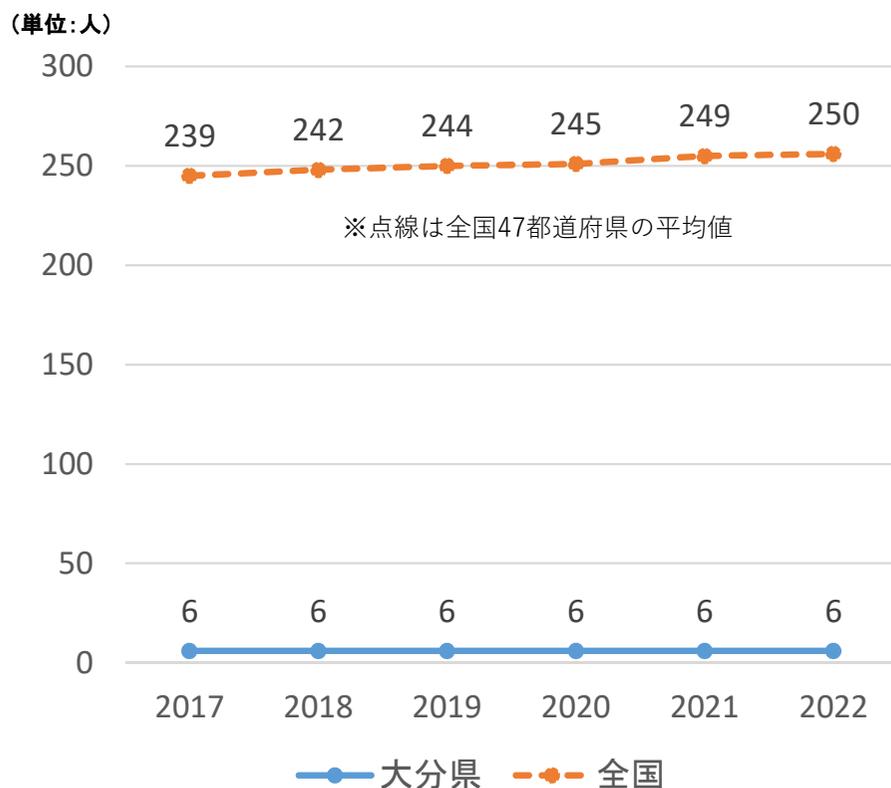
商標	関あじ		商標	日田梨	
商標登録	第5005587号		商標登録	第5092285号	
権利者	大分県漁業協同組合		権利者	全国農業協同組合連合会	
商標	関さば		商標	小鹿田焼	
商標登録	第5005588号		商標登録	第5427001号	
権利者	大分県漁業協同組合		権利者	小鹿田焼協同組合	
商標	大分麦焼酎、大分むぎ焼酎		商標	豊後きのこカレー	
商標登録	第5027126号、第5059613号		商標登録	第5509635号	
権利者	大分県酒造協同組合		権利者	大分県椎茸農業協同組合	
商標	豊後別府湾ちりめん		商標	岬ガザミ	
商標登録	第5083726号		商標登録	第5550086号	
権利者	大分県漁業協同組合		権利者	大分県漁業協同組合	
商標	豊後牛		商標	玖珠米	
商標登録	第5081419号		商標登録	第5549584号	
権利者	全国農業協同組合連合会		権利者	玖珠九重農業協同組合	
商標	中津からあげ		商標	別府竹細工 <b>NEW</b>	
商標登録	第5817143号		商標登録	第6644633号	
権利者	中津商工会議所		権利者	別府竹製品協同組合	

出典：地域団体商標事例集2023

# 大分県の知的財産の現状（支援人材）

- 弁理士登録人数は、横ばいで推移。令和4年12月31日時点で全国271名、大分県は6名
- 知的財産管理技能士数は大分県では微増。全国第36位

## I. 弁理士登録人数の推移【大分県】



出典:特許行政年次報告書(2018年版~2023年版)

## II. 知財総合支援窓口支援人材【大分県】（令和4年度）

(単位:人)

窓口担当者	配置弁理士	配置弁護士	合計
5	5	2	12

出典:特許庁普及支援課

## III. 知的財産管理技能士数【大分県】（令和5年8月現在）

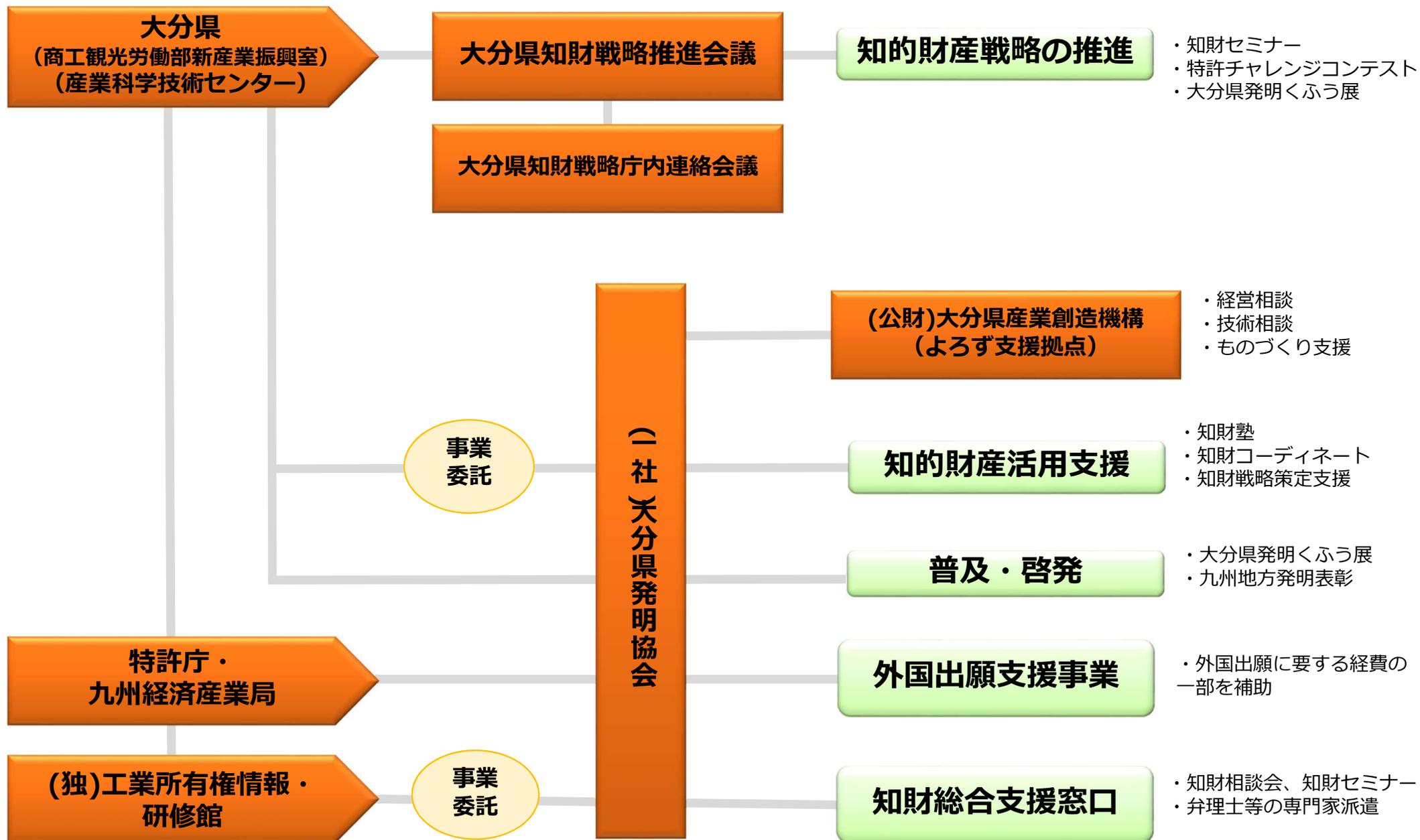
(単位:位)

1級	2級	3級	合計	全国順位 (合計)
7	87	186	280	36

出典:知的財産管理技能検定ホームページ

# 大分県の知的財産の現状（支援推進体制）

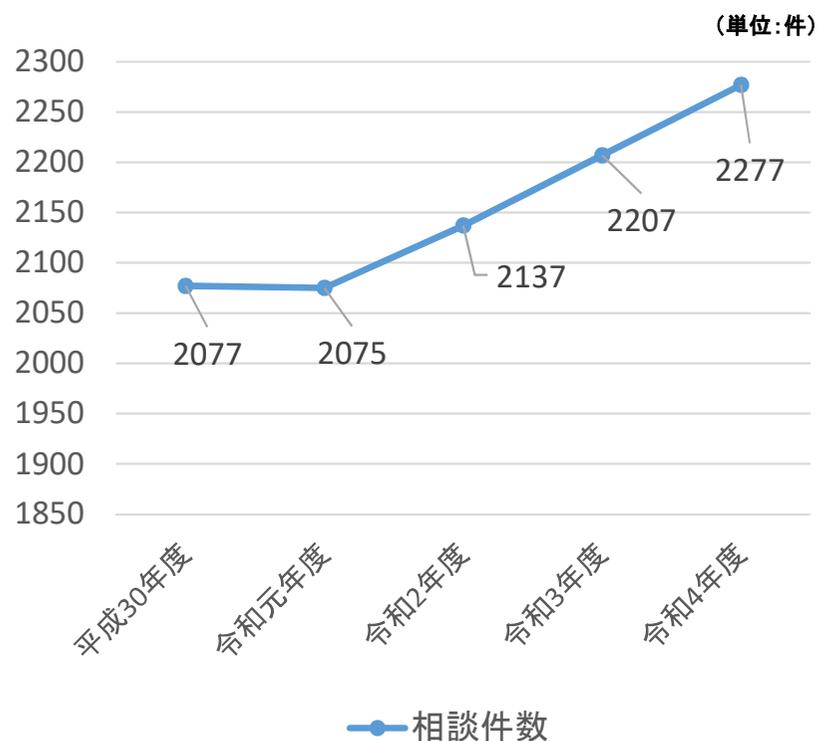
## 知的財産事業の実施体制



# 大分県の知的財産の現状（国の支援事業）

- 知財総合支援窓口での相談件数は、増加傾向。
- 外国出願補助金は商標の割合が多い傾向。

## I. 知財総合支援窓口における相談件数（大分県）



出展:特許庁普及支援課

## II. 外国出願補助金採択数

(単位:件)

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
特許	2	4	5	1	1
実用新案	1	0	0	0	0
意匠	1	0	0	0	0
商標	6	2	13	7	4
冒認対策	0	0	0	0	0
合計	10	6	18	8	5

出展:特許庁普及支援課

## **②大分県知的財産総合戦略の 総合目標・成果指標について**

- I .知財支援機関による相談件数**
- II .中小企業数に対する特許及び商標の出願中小企業数の割合**
- III .各項目における成果指標の進捗状況**

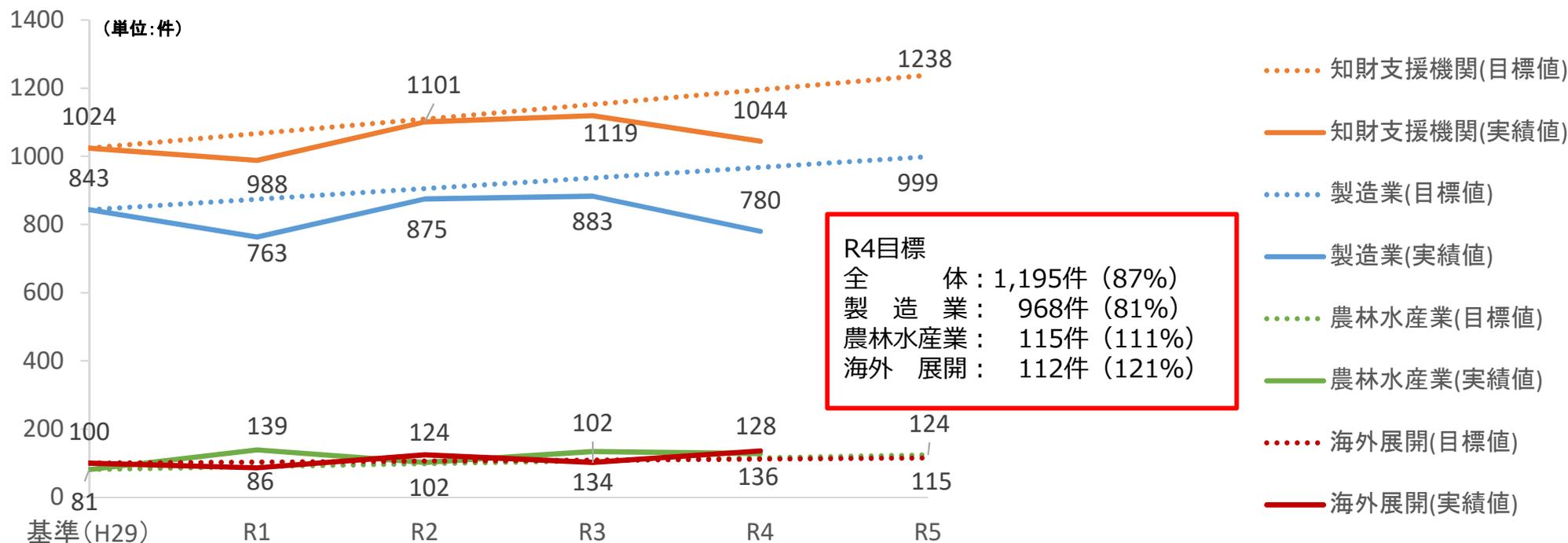
# 総合目標の進捗状況について②

## 総合目標の進捗状況について

### I. 知財支援機関による相談件数

- ・ R4においては基準値(H29)と比較して20件の増。各種施策の推進により目標値(R5)に向けて概ね順調に推移。
- ・ 海外展開はR4に過去最高の相談件数（136件）となり目標値(R5)を達成。農林水産業についてもR3から2年続けて目標値(R5)を達成した。

項目	基準値 (H29)			実績値 (R2)			実績値 (R3)			実績値 (R4)			目標値 (R5)
		協会	よろず	協会	よろず	協会	よろず	協会	よろず	協会	よろず		
知財支援機関での支援件数	1,024	916	108	1,101	1,052	49	1,119	1,081	38	1,044	1,016	28	1,238
製造業への支援	843	749	94	875	832	43	883	858	25	780	756	24	999
農林水産業への支援	81	67	14	102	96	6	134	121	13	128	124	4	124
海外展開に関する支援	100	100	0	124	124	0	102	102	0	136	136	0	115



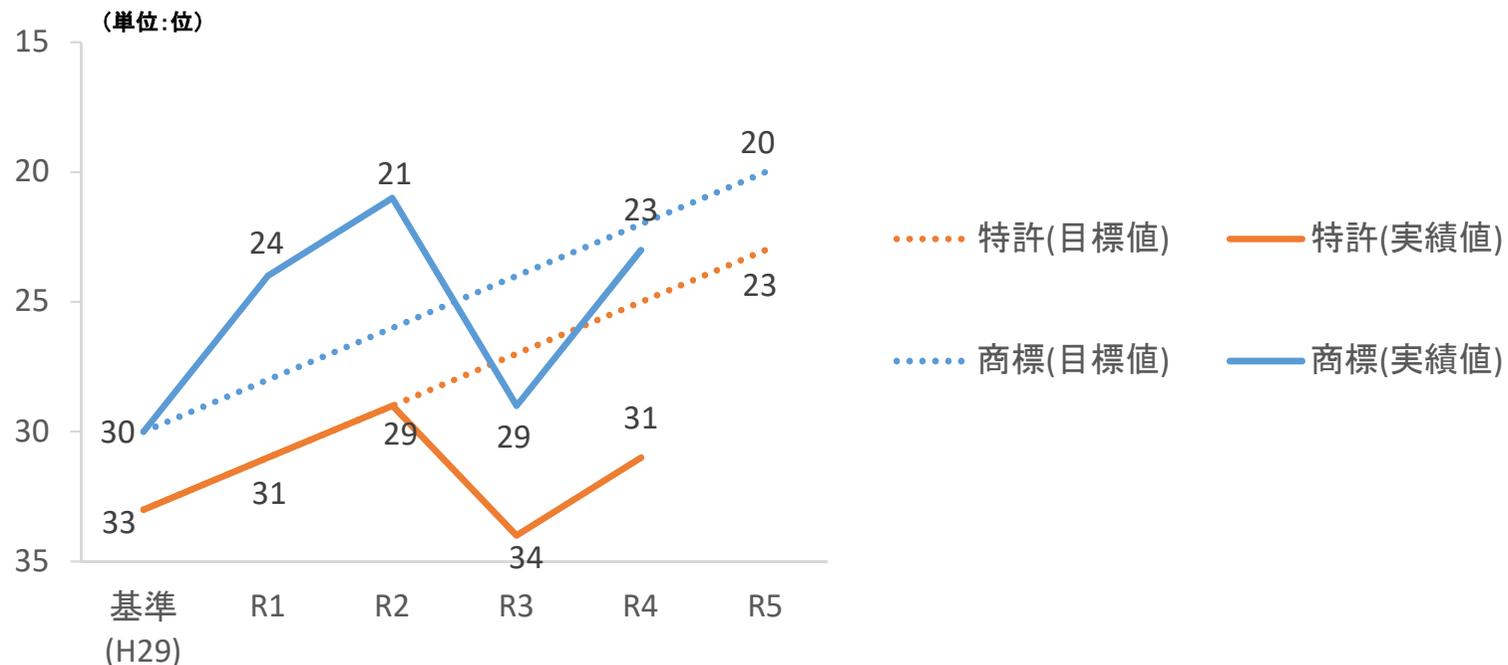
# 総合目標の進捗状況について②

## 総合目標の進捗状況について

### Ⅱ. 中小企業数に対する特許及び商標の出願中小企業数の割合

- ・ R4は割合、出願企業数ともに前年度と同数値であったが、順位は3ランクアップした。商標については、前年度よりも割合、順位、企業数の項目全てが上回った。

知的財産権の種類	項目	基準値 (H29)	実績値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	目標値 (R5)
特許	割合 (%)	0.13	0.16	0.17	0.14	0.14	0.18
	全国順位	33位	31位	29位	34位	31位	23位
	企業数	47	56	58	49	49	66
商標	割合 (%)	0.43	0.48	0.52	0.50	0.51	0.48
	全国順位	30位	24位	21位	29位	23位	20位
	企業数	157	168	180	173	178	176



# 成果指標の進捗状況について

## Ⅲ.各項目における成果指標の進捗状況について

- ・安心・活力・発展のそれぞれの項目で成果指標を設定し、取り組みを進めている。
- ・年度毎に目標を数値設定している項目は達成
- ・R5時点での目標を設定している項目についても、達成に向けた取組みを着実に実施し、件数等を伸ばしている

○各項目における成果指標

項目	担当課室	実績値 (R4)	目標値 (R5)
<b>◆安心・活力・発展を推進する創造戦略</b>			
大分県が支援したIoT等のプロジェクト事業化数	先端技術挑戦課	8件	12件 (R4目標値: 10件)
県内製造業の付加価値額	工業振興課 新産業振興室	9,298億円	9,250億円
経営革新計画の毎年の承認件数	経営創造・金融課	127件/年 (累計451件)	72件/年 (累計360件)
県や支援機関による創業支援件数	経営創造・金融課	643件/年 (累計2,420件)	500件/年 (累計2,500件)
ビジネスプラングランプリ応募企業	経営創造・金融課	60社/年 (累計262件)	50社/年 (累計250社)
企業とクリエイティブ人材のマッチング件数	経営創造・金融課	12件 (累計64件)	累計75件
県内中小企業と取組む共同研究	産業科学技術センター	10件/年 (累計40件)	5件/年 (累計25件)
<b>◆安心を守る知財戦略</b>			
県が育成したいいちご品種「大分6号(ベリーツ)」の品種登録出願	地域農業振興課	延べ2ヶ国	海外で2ヶ国以上
<b>◆活力を生む知財戦略</b>			
ターゲット別マッチング商談会での商談件数	商業・サービス業振興課	144件/年 (累計975件)	累計1,200件
海外見本市等への出品企業数	商業・サービス業振興課	43件/年 (累計480件)	累計500件
知的財産保護に関するセミナー参加者	おおいたブランド推進課	25名/年 (累計76名)	30名/年 (累計150名)
<b>◆発展を促す知財戦略</b>			
ICT活用を指導できる教員の割合	教育デジタル改革室	82.3%	100%